



発行：公益財団法人山形県林業公社

住所：〒990-2363 山形市大字長谷堂字馬場2265番地

電話：023-666-6348 FAX：023-689-9348

ホームページ：<http://business3.plala.or.jp/y-rkousy/>

メールアドレス：[y-ringyo@atlas.plala.or.jp](mailto:y-ringyo@atlas.plala.or.jp)

～適正な森林管理のあり方を検討するために～

## 1. 現地調査を開始しました

現地調査  
生育状況 路網状況

林分評価

森林管理のあり方  
について検討

### 現地調査

#### ① 生育状況調査

調査の目的は、植栽したスギなどの樹木が木材生産のできるような生育状況になっているかどうか、長伐期非皆伐施業に向けた高木性の広葉樹の成長具合、そして将来の木材生産量の推定などです。調査の内容は、樹木の高さ、胸の高さにおける樹木の直径、根元曲りの状況、高木性の広葉樹の生育状況、降雪や熊による被害の状況について、測定や確認することです。



#### ② 路網状況調査

調査の目的は、公社林地への進入路と公社林地内の路網の配置などの現在の状況と、将来必要な路網整備（開設・補修・改良）延長の把握などです。調査の内容は、進入路や公社林地内の路網の状況を「10t積トラックが走行可能か」、「林業用機械が走行可能か」など走行車両の規格ごとに調査し、「路網線形が木材の搬出に適しているか」を検討することです。



### 現地調査の結果をもとに林分評価を行います

H25～27年度の3か年で実施する現地調査の結果を分析し、林分評価を行います。林分評価を行う際には、林業経営、森林の管理、森林の生態などに精通した方々からご意見をいただきながら検討してまいります。

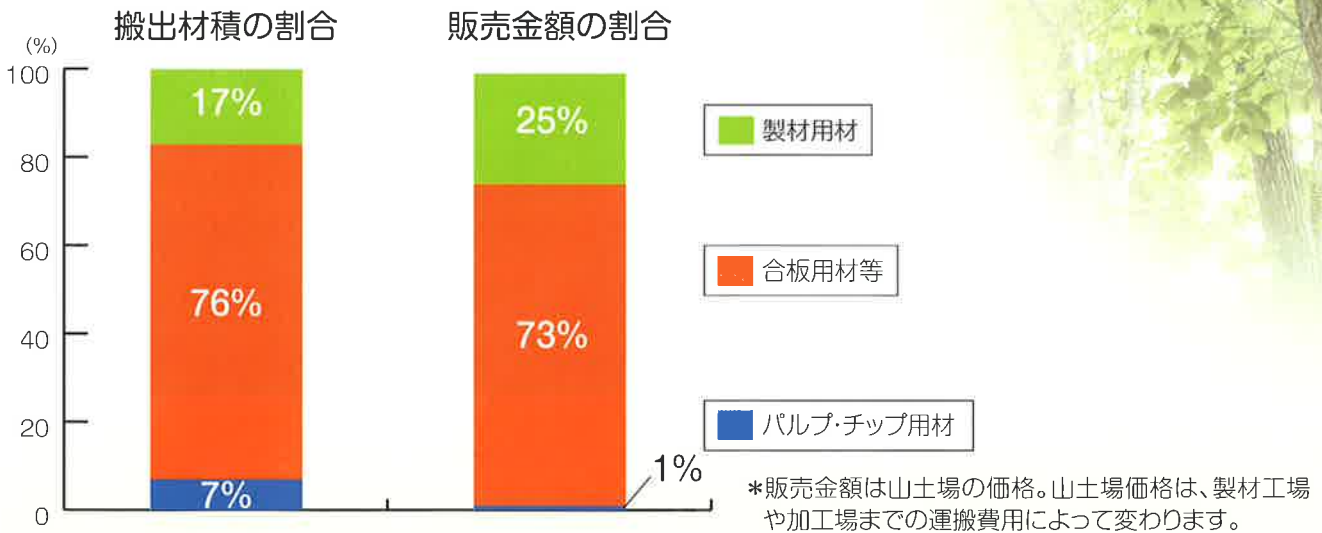
## 2.平成25年度の搬出間伐の実施状況について

平成25年度に実施した搬出間伐事業の結果は、下表のとおりです。搬出材積のうち合板用材等が全体の76%を占めています。これは、現段階での社営林の生育状況に由来するもので、林齢が若いために曲りの度合いが大きく、製材用材のようなまっすぐな丸太が生産できないため、このような状況は当分の間は続くと考えられます。しかしながら、長伐期施業の実施により幹が太くなるとともに曲りの度合いが少なくなるので、将来的に生産材は、合板用材等から製材用材へ徐々にシフトしていくものと考えています。

### 平成25年度の搬出間伐の実施結果

用材別	搬出材積		販売金額			
	①数量 (m <sup>3</sup> )	割合 (%)	②金額 (円)	割合 (%)	②/①単価 (円/m <sup>3</sup> )	
製材用材	729	17	5,499,522	25	7,544	
合板用材等	合板用	1,393	32	6,628,681	30	4,759
	ラミナ用	1,650	38	7,993,503	37	4,845
	杭材等	254	6	1,333,077	6	5,248
	計	3,297	76	15,955,261	73	4,839
パルプ・チップ用材	304	7	325,450	1	1,071	
計	4,330	100	21,780,233	100	5,030	

販売金額割合の計が不一致なのは四捨五入による



### 用材別丸太の規格 (H25)



## 3.分収割合に関する説明について

今年度から分収割合の変更について、分収林契約者の皆様に説明させていただきたいと考えています。平成25年度は面積規模の大きい公的所有森林等の皆様から説明に伺いたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。